

## 2月7日に開催された平成23年第1回臨時会 では、このようなことが決まりました。

### 補正予算

#### ●平成22年度八峰町一般会計補正予算

要援護者台帳等地図管理システム導入委託料ほか345,333千円を追加補正しました。

#### ●平成22年度八峰町簡易水道事業特別会計補正予算

町債繰上償還元金分31,798千円を追加補正しました。



行政報告をする加藤町長

## たくさんの傍聴者がきてくれました。



今定例会では延32名が傍聴に訪れ、3月11日の一般質問の際には、水沢小学校6年生（現峰浜中学校1年生）も庁舎見学を兼ね議会を傍聴にきてくれました。

子どもたちは緊張した面持ちで聞いていましたが、人口減少に関する質問の際にはみんな熱心にメモをとっている姿が印象的でした。

## 当町の議員が表彰されました

全国町村議会議長会より15年以上議員在職者として、須藤正人議長・松岡清悦議員・木藤實元議員が、秋田県町村議会議長会より23年以上議員在職者として阿部栄悦議員が、11年以上議員在職者として丸山あつ子議員が表彰されました。

## 農林漁業振興対策について



皆川 鉄也 議員

**質問** 農林漁業関係者が明日への仕事に意欲と、希望を持って取り組めるような積極的に傾斜配分した予算編成であつてよかつたのではないか。

**答弁** 新年度は地方財政を取り巻く厳しい状況であるが、低迷する町の経済・雇用の活性化を促すため、地場産業である農林漁業の振興や雇用の確保と創出に留意しつつ、編成作業を行った。町では国や県の補助事業を活用するとともに、それに対応できない事業



地場産業の一つである漁業

については可能な限り町単独事業で取組んでいく。

### 特別会計の一般会計繰出金の考え方について

**質問** 特別会計に一般会計からの繰り出す金額が年々増加傾向にある。

特に、下水道事業関係への繰り出しについては、加入促進を図ることにより、緩和できると思うがどうか。

**答弁** 新年度も継続が予定されている住宅リフ

### 新しい学習指導要領について

**質問** 平成23年度から小学校が、24年度からは中学校がそれぞれ新しい学習指導要領に基づき学習することになるが、その特徴と対策についての考えは。

**答弁（教育長）** 特徴として、「生きる力」を幅広く含むという現行学習指導要領の理念、いわゆる知・徳・体のバランスの取れた力を育むことを継承しつつ、義務教育の目標が新たに規定され、各学校段階の目的・目標が改正、確かな学力の重要な要素が規定されている。また、新学習指導要領

オーム緊急支援事業や町単独の融資制度、助成制度を普及しながら加入促進を図っていききたい。

の完全実施に向け、教育委員会に求められている主要なものとして次の3点がある。

① 学習指導要領改訂を踏まえた教育委員会としての方針等の提示

② 授業づくりに関する相談指導の充実

③ 適切な教員研修の実施

この3点についての教育委員会の対策として、

① 外部評価を取り入れた学校評価を完全実施する。

② 県の教育庁の最先機関と連携を図り、更には、規定を超えた指導主事の派遣等の予算を計上している。

③ 秋田県総合教育センターで教員研修に積極的に参加するように指導するとともに、教員の指導力向上を目指し、町単独の研修費を今年度で30万円を計上し、言語活動を中心に教員の希望する全国研修に参加させている。